

教育相談課

教育相談・自立支援教室「あけもどろ学級」

不登校等の様々な悩みを持つ児童生徒や保護者及び教師に対して、心理士や教育相談員が教育相談を行っています。継続的な支援が必要な場合は、担当による定期的な面接を行います（継続相談）。ケースの方針によって必要であれば小集団活動（スポーツ・物づくり）といったプログラムも行います。心理的・情緒的不安が要因で登校できない児童生徒に対しては、継続相談での状況によって、「あけもどろ学級」で集団活動、教育相談、学習指導を組織的、継続的に行うことで自主性や社会性の育成と人間関係の改善を図り、学校適応の促進及び社会的自立を目指します。



学習支援室「ていんぼう」



学習支援員が不登校児童生徒の学習支援を行い、社会的適応を促します。また、過卒生で高校進学希望を抱いている青少年の高等学校入試に向けた学習支援を行うことで社会的自立を促します。さらに、全国最下位である本県の高校進学率の向上を目指します。

教育相談支援員

教育相談支援員を全小中学校に配置し、不登校及び不登校傾向の児童生徒や保護者の相談・支援に取り組んでいます。また、支援員を対象に研修会を実施し、不登校の現状、未然防止、対応等の情報交換や助言を行っています。

子ども寄添支援員(SSW)

各中学校区に子ども寄添支援員(SSW)を派遣し、貧困家庭の児童生徒の実態把握を行い、学校や関係機関と連携し、貧困問題対策に取り組めます。

街頭指導「がいとうPolaris」

専任指導員や青少年指導員（全中学校区配置）が、青少年の問題行動（不良行為）がよく見られる繁華街、公園、ゲームセンター、カラオケボックス、学校周辺の溜まり場等を巡回し、徘徊する青少年へ積極的に声かけを行い、帰宅を促しています。怠学や夜遊び等、問題行動のある児童生徒に直接指導を行い、必要に応じて関係機関と連携を取り、非行の未然防止や早期対応等を図り、深夜徘徊による青少年の補導人数減少につなげています。



自立支援教室「きら星学級」「むぎほ学級」

「自立支援教室」では、不登校や登校しぶり（10日以上30日未満の欠席）の状態にある児童生徒に対して、日中の居場所を確保し、個別の支援を行うことで、学校復帰や、社会的自立に向かえるように様々な活動を体験させることを目的としています。



那覇市教育委員会 教育相談課

〒900-0032 那覇市松山 2-22-1

那覇市津波避難ビル 2階・3階

TEL : 098-941-7868

FAX : 098-941-7869